



緑風だより



第83号

令和3年1月

発行 障害者支援施設 神奈川県立さがみ緑風園

〒252 - 0328 相模原市南区麻溝台2 - 4 - 18

TEL042 - 766 - 2255 URL www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/



ムース食の導入について

栄養士 井上 拓美

当園の食事は「普通食」「形そのままソフト食」「ミキサー食」の3種の食形態で提供してきましたが、令和2年5月から新たに「ムース食」の提供を始めました。「ムース食」は、料理をミキサーにかけてからムース状にかためたものです。嚥下状態が適する利用者さんを対象に、はじめは1日3食のうち1食を市販のムース食に替え、11月からは昼と夕の2食に増やし、行事食など特別な献立が多い昼食では手作りで提供しています。調理業務委託先の日清医療食品の皆さんが、安定した品質で提供するために日々工夫を重ねています。

今後は昼食だけでなく夕食も手作りすることや、朝食も含めた完全導入を目指しています。とても時間と手間のかかる「形そのままソフト食」を続けながら「ムース食」を提供することは調理現場にとっては負担も大きいですが、利用者さんそれぞれに適した食形態で安全に食事を楽しんでいただけるよう、食事の改善を更に進めていきます。

ムース食



形そのままソフト食



当園独自の食形態である「形そのままソフト食」は「ソフト食」と略して呼びますが、内容的には一般で言う「軟菜食」に近いものです。これは「普通食」とほぼ同じ食材を使い、見た目や味をできるだけ変えずにやわらかく仕上げることで、満足感を保つように考慮して導入したものです。一方で嚥下機能が更に低下した場合や、入院先で嚥下調整食に移行した際などに、当園では「ミキサー食」以外に選択肢がないという状況がありました。「ムース食」の導入により改善に向けて一歩前進できたのではないかと思います。

目次

- ・ムース食の導入について
- ・おしゃべり会、やっています♪
- ・グループ活動、開催中！



おしゃべり会、さしません

地域支援課 小野 沢悟

当園には、心理担当職員が2名います。利用者の皆様が安心してその人らしい生活が送れるように心理面からのサポートを行っています。今回は、心理担当職員が行っている「おしゃべり会」について紹介します。おしゃべり会は、毎週火曜日のお昼過ぎに集まって、参加者で思いつくまま自由におしゃべりをする会です。心理担当は、司会と補助役に分かれて、皆さんが話題を共有しやすいようにサポートしています。主な話題は、園の行事や家族の話、天気や季節にまつわる話、テレビ番組で取り上げられている事などです。

最近では、「東京オリンピックピック」「コロナ」「鬼滅の刃」も話題になりました。もちろん、新型コロナウイルス感染症予防の対策をしながらではありませんが、盛り上がった時は皆さんのマスクの下から笑顔がこぼれていました。また、天気が良く暖かい日には、園庭でまったりと青空おしゃべり会も行いました。これからも、利用者の皆さんが楽しい時間を過ごせるようお手伝いをしていきたいと思えます。

おしゃべり会の様子です！



グループ活動、開催中！

地域支援課 大岩 智輝

現在、当園のグループ活動は新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティア等をお招きした活動が出来ない中での活動となつていますが、既存の『憩い』『レク』『手工芸』の3つのグループについては感染予防を徹底したうえでこれまで同様の活動を行っています。

そのうち、『手工芸グループ』は利用者個々の創作活動を中心に活動していて、家族や知人等への贈り物や居室の装飾品、季節行事の装飾品等の創作を行っています。

作品によっては1週間程度かかるものから数カ月間程度かかるものまでありますが、完成した時にはホーム職員に嬉しそうに伝えたり、写真に収めたり、笑いながら職員と一緒に壁面に飾りつけをしたりと作品を完成させた充実感をその人なりの表現で職員に伝えてくれます。

しかし、その余韻に浸るのも束の間、すぐに新たな創作意欲が湧くのか「次は何を作ろうか」と再び創作活動に勤しんでいます。そんなこんなで今日もグループ活動の時間があつという間に終わります。



編集誤記

5 ホーム 本木

今年は例年以上に寒く、体調の崩しやすい日々が続きます。加湿や手洗い、消毒などを取り組みつつ、力を合わせて乗り越えましょう！

